

科目ナンバー	B2502	要件	選択必修	授業形態	講義	対象学生	I A B
授業科目	奈良文化論						
実施期	前期	単位数	2単位	授業担当者	磯辺ゆう		
【科目の概要】							
学内外の専門家による講演、体験を通して地域の伝統的な文化と、人々の生き方を知る。自分の出身地の文化を調べ新聞と発表によりアピールする。それが、自分の毎日の生活の中や幼児教育とどのように関係してくるかを考える。適宜フィードバックを行う。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	奈良文化、地域文化、伝統文化に関する知識を身に付けている。						1-b
イ	情報を収集・整理し、みんなの前で発信できる。						2-a、3-a
ウ	探求心をもって、体験を深め、自分自身を向上させようとしている。						4-b、4-d
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	さくら茶会（入学式）、「奈良文化論」の説明			4月3日	ファイルを準備する。		
	奈良に残る民俗1：奈良県立民俗博物館見学（学外オリエンテーション）			4月5日	気が付いたことをメモする。コピーしてファイルする。		
2	奈良の世界遺産見学と燈火会体験（学外オリエンテーション、グループワーク発表）			4月5日			
3				4月6日			
4	授業のオリエンテーション			4月15日	ファイルを整理する。		
	よもぎだんご制作を通じた季節の食学習			4月22日	季節のものを食べる。		
5	珠光「わび茶」の精神・茶の湯を知る（宮武）実践とフィードバック				生活の中でどのように生かせるか書く。（0.5時間）		
6	茶の湯のマナー（宮武）実践とフィードバック						
7	奈良に残る民俗2：講演（民俗博物館学芸員横山氏）			5月13日	思い出の習慣について書く。（0.2時間）		
8	奈良の昔話：講演（藤戸）			5月6日	図書館で昔話の本を借りて読む。（0.5時間）		
9	奈良の歴史文化と観光（奈良ソムリエ）			6月17日	地域の文化について気が付いたことを書く。（0.2時間）		
10	奈良の食文化：講演（喜多野）			6月3日	思い出の食について書く。（0.2時間）		
11	大和野菜の講義と料理（イタリアンレストランオーナー稲次知己氏）			6月24日	野菜について書く。		
12	奈良の産業「林業」：講演（林業家グループによる）			7月22日	木製品についての提案をする。（0.2時間）		
13	奈良の名物・産業・物産について調べる。アピール新聞テーマを決める。（獲得を目指す力の確認）				新聞のデザインを考え、紹介記事の文案を練る。（1時間）		
14	アピール新聞、原稿作成						
15	地域の文化紹介、アピール新聞作成2：仕上げ、展示発表			7月15日	展示を見学、発表準備をする。（0.5時間）		
16	発表：自分の新聞にのっとして、アピールする。他の発表を聞き評価する。フィードバック			7月29日	ファイル整理（0.5時間）提出		
【教科書・テキスト】				【成績評価の方法】			
適宜プリント教材を用意する。				提出物（ファイル、振り返り他） 70%、受講態度 30%			
【参考書・教材】 適宜紹介する。							
【履修要件及び履修上の注意事項】 テキパキとした行動をとる。ファイルを用意し、資料はすぐにファイルする。							
【履修上の遵守事項】							
【連絡先・オフィスアワー】							
連絡先：N10				オフィスアワー：			

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア①	奈良文化についての知識		奈良の文化に関心をもつようになった。	講義の話で印象に残っていることが3つ以上ある。	講義の話で印象に残っていることが5つ以上ある。
ア②	伝統文化、地域文化への関心		自分の子ども時代の暮らしについて思い出した。	今の自分の1年間の間にも、季節の食や行事がある事に気付いた。	伝統的な食や行事、地域の文化等に関心がわいてきている。
イ①	情報収集・整理・発信力		新聞制作に向けて、情報の収集の仕方を知っている。	集めた情報をもとに、自分が伝えたいことを新聞の形に整理できる。	地元の文化をアピールできるように、読者の関心を高めようと工夫している。
イ②	発表力の向上		新聞制作と発表に対して、元気よく取り組もうとしている。	大きな声ではっきりと発表し、アピールしようとしている。	聞く人の関心を高めようと工夫し、質問に対して、よく答えようとしている。
イ③	発表への参画と協働		他者の発表に関心をもつ。	他者の発表を理解できる。	他者の発表に質問ができる。
ウ①	自分自身の向上		伝統文化の体験や知識が社会人として、保育者として役立つことがわかる。	文化や伝統を、自分の生活や保育の中にとり入れていこうと考えている。	伝統や文化を取り入れる事で、自分の生活を豊かにできている。
ウ②	探求心と積極性		内容を理解し、身に付けている。	授業の中で、積極的に関わろうとしている。	伝統文化に関心を持って、もっと知ろう、体験を深めようとしている。
ウ③	生活の中に生かすこと		お茶の作法を知っている。	お茶の作法の意味を知っている。	日常の中で、お茶の心を実践しようとしている。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					